



学校だより

横浜市立秋葉中学校

令和8年2月2日発行

電話811-6773 FAX813-9438

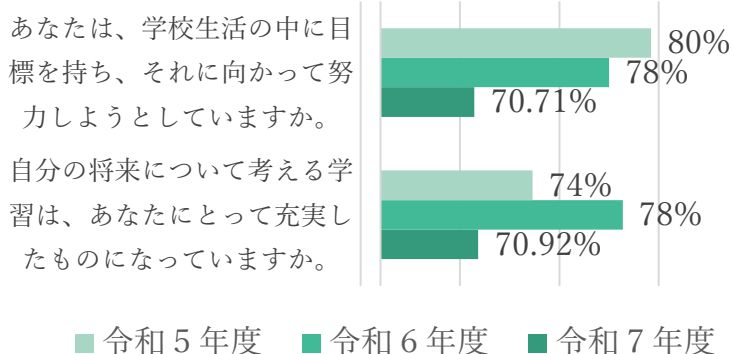
自らの人生を舵取りする力

校長 柿崎 順子

先月、1月22日に2年生が45か所の事業所、7組の1~3年生は3か所の事業所に分かれて職場体験を行い、1月29日には1年生が職業講話として、6つの事業所の方に学校に来ていただいてお話をうかがいました。

私は3つの小学校での体験の様子を見に行きました。「楽しい。明日も来たいです。」「大変です…」といった生徒の声や、「たくさん子どもたちと遊んでくれて助かっています。」という小学校の先生の声聞き、小学生に勉強を教えたり、優しく声をかけたりしながら頑張っている姿を見てきました。たった一日でも、きっとたくさんのことを学んだことでしょう。

さて、右のグラフは、今年度生徒による学校評価の結果の一部です。昨年度よりも値が低くなったものを抜粋しました。



現在、国では新しい学習指導要領の策定に向けての議論がすすめられています。その中では、「自らの人生を舵取り

することができる 民主的で持続可能な社会の創り手」の育成を目指すということが書かれています。その背景としては、これからの社会が「激しい変化が止まることがない時代」となること、「マルチステージの人生モデルへの転換」が求められるようになるということ等があげられています。

先にあげた職場体験や職業講話だけでなく、子どもたちが自分の将来について、自分の生き方、在り方について、しっかり考えていく学習をもっと充実したものにしていくとともに、日々の学校生活の中でも、子どもたちが目標をもってそれに向かって努力していけるようにしていかなければ…と思っています。

そんななか、最近気になっているのが時間ギリギリに登校してくる生徒が多くなっていることです。決められた時間に間に合うように、余裕をもって登校するということは、一番基本的な「目標」ではないでしょうか。

ちょっとぐらい遅れても…と思っているのかもしれませんが、ちょっとぐらいなら、遅れるのではなく、ちょっとぐらい早く起きたり、急げば間に合うのです。ちょっとぐらい…の後にどちらの選択ができる人になるかは、遅刻だけでなくいろいろなところにつながる、まさに自分の生き方につながってくるのです。

最後に、昨年、日本人初のアメリカの野球殿堂入りを果たしたイチローの言葉を紹介します。

「小さいことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道」